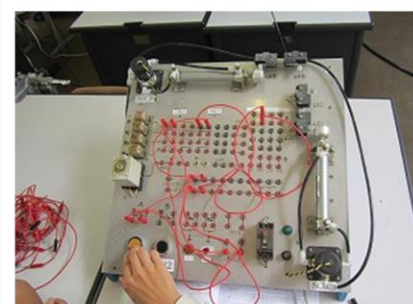




「電気」は私たちの生活を支えています。その「電気」は発電所でつくられ、電線に乗って私たちのもとへ届きます。そんな私たちが当たり前のように使っている「電気」の基礎となる知識から、発電・送電・配電の実践的な技術を学びます。



「電気」を通して社会で必要とされる 人材育成に力を入れています。

電気科の学び

電気の基礎理論からモータ、発電機、電力技術、電子技術、自動制御、コンピュータなど電気全般について学習します。

様々な機器を用いて目に見えない電気の取扱いについて学び、安全第一を心掛けた実習も行っています。国家資格の取得にも力を入れており、将来日本の産業を支える電気技術者の育成を目指しています。



取得できる資格

- 電気主任技術者(第三種)
- 電気工事士(第一種・第二種)
- 危険物取扱者(甲種・乙種・丙種)
- 電気工事施工管理技術検定(2級)
- 計算技術検定(1級～3級)
- 情報技術検定(1級～3級)
- リスニング英語検定(1級～3級)

競技会への取り組み

- 総合競技大会とは？

愛知県の工業高校生が知識、技術の向上を図るとともに高等学校工業教育の充実発展を目的とした競技大会です。またこの大会は「高校生ものづくりコンテスト東海大会」「若年者ものづくり競技会」への出場選考会も兼ねています。

電気科では電気工事の部に出場し、すばらしい成果を出しています。

